

[PRESS RELEASE]

2008年10月27日

東京大学医学部附属病院 22世紀医療センター
健診情報学講座

シンポジウム開催について(11月4日)
『企業における攻めの健康づくり2008』

東京大学医学部附属病院 22世紀医療センター 健診情報学講座は、11月4日に「企業における攻めの健康づくり2008」と題し、シンポジウムを開催いたします。

本年は厚生労働省「第11次労働災害防止計画」がスタートし、平成24年度の目標として有所見率の減少がうたわれ、これまで以上に健康管理の徹底が企業に求められます。

また、本年は「特定健診・保健指導制度」の導入により40歳以上の社員・家族への生活習慣病の予防が企業の健康保険組合などに義務化された年でもあり、シンポジウムでは今後企業が健康保険組合などと共に、いかに予防に取り組みれば良いのかを提言することを目的としています。

健康づくりや予防に取り組む企業は、社員の健康増進に寄与し、結果として生産性の向上につながるだけでなく、今後はその取り組み自体が健保組合とともに評価され、医療保険料負担の増減にもつながる時代になります。日本経済団体連合会では、企業行動憲章の中で、企業が健保組合と連携して積極的に健康管理に取り組む考え方が示されるなど、企業における健康づくりは社会的な潮流になると考えられます。

ご多忙な時期かとお推察いたしますが、是非ともご参加いただき、このシンポジウムが皆様の今後の取り組みのご参考になれば誠に幸いに存じ、ご案内申し上げます次第です。

シンポジウムに参加される場合は、別添の「参加申込用紙」にて 10月29日(水)迄に、下記健診情報学講座（シンポジウム担当）宛てに、必要事項を記入のうえFAXまたはメールにてお申し込みくださるようお願い申し上げます。

【シンポジウム概要】

【日時】 2008年11月4日(火) 13:20 ~ 17:30

【場所】 東京大学 安田講堂（文京区本郷7-3-1）

【対象】 企業総務人事、健保組合、共済組合 など

【参加費】 無料（定員 728名 先着順）

【後援】 東京大学医学部附属病院 22世紀医療センター

[プログラム] 別紙1

[お申込み方法] 10月29日(水)までに参加申込用紙をFAX(FAX申込み用紙 **別紙2**)
またはメールにてお送りください。

[お問合せ・お申込先]

東京大学医学部附属病院 22世紀医療センター健診情報学講座 (シンポジウム担当)

TEL:03-5684-2200

FAX:03-5800-9173

※健診情報学講座ホームページ <http://www.kenshinjyohogaku.jp/>にて詳細をご確認いただけます。

《取材に関するお問合せ先》

東京大学医学部附属病院 パブリック・リレーションセンター

TEL:03-5800-9188(直通)

E-mail: pr@adm.h.u-tokyo.ac.jp

《本件に関するお問合せ先》

東京大学医学部附属病院 22世紀医療センター

健診情報学講座 (シンポジウム担当)

TEL:03-5684-2200

FAX:03-5800-9173

[プログラム]

13:20 開会

13:20～14:00 セッション1「特定保健指導の運営」

座長 東京大学医学部附属病院 22 世紀医療センター健診情報学講座助教 古井祐司

「健保組合における事業運営」

トヨタ販売連合健康保険組合 保険事業室長 大口和久

「保健指導機関による特定保健指導のプログラム運営」

ヘルスケア・コミッティー株式会社 事業開発運営本部企画運営室 安部千里

14:10～15:30 セッション2 「健診データの標準化」

座長 東京大学医学部附属病院 22 世紀医療センター健診情報学講座助教 星本弘之

「標準化の意義と動向」

東京大学大学院医学系研究科 医療情報経済学分野教授 大江和彦

「標準電子様式の拡張規格」

東京大学医学部附属病院 22 世紀医療センター健診情報学講座助教 星本弘之

「記載内容の実態」

東海大学医学部 基盤診療学系健康管理学教授 高橋英孝

「特定健診における検体検査の標準化」

日医総研 主任研究員 吉田澄人

15:40～17:30 大講演「企業における健康管理のパラダイムシフト」

～守りから攻めの健康管理へ

挨拶 東京大学医学部附属病院 22 世紀医療センター長 中村耕三

座長 東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻教授 橋本英樹

東京大学医学部附属病院 22 世紀医療センター健診情報学講座助教 古井祐司

「企業による労働者の健康管理」

厚生労働省 労働基準局安全衛生部労働衛生課専門官 石井安彦

「企業の行動憲章に基づく活動事例」

日本経済団体連合会 産業第一本部長 井上 洋

「産業保健スタッフによる支援」

産業医科大学 副学長 森 晃爾

「健診情報学講座の取り組みから見た今後の健診デザイン」

東京大学医学部附属病院 22 世紀医療センター健診情報学講座准教授 奥 真也

～パネルディスカッション～

17:30 閉会

ファクシミリ参加申込用紙

問い合わせ先 東京大学医学部附属病院 22世紀医療センター健診情報学講座 (シンポジウム担当)

FAX : 03-5800-9173 E-mail : kenshin1@m.u-tokyo.ac.jp TEL : 03-5684-2200

所属企業・機関名			
所在地			
TEL		FAX	
メールアドレス			
参加証の送付先	FAX ・ メール を希望 (どちらかを選択ください)		
部署名および役職名			参加者ご氏名

以下のアンケートは、シンポジウム当日にその結果をご報告し、各企業の今後の取組みの参考にさせていただきますので、回答へのご協力を願います。

問1 貴企業・健保組合では、特定健診制度の導入により、2008年4月より40歳以上の社員に次のサービスを提供されていますか？(複数回答可)
 ①特定健診 ②情報提供 ③特定保健指導

問2 貴企業・健保組合では、社員への健康管理や予防の取組みについて、事業主・健保組合相互で意見交換や協力をしていますか？
 ①はい ②いいえ

問3 生活習慣病の予防に取り組んだ健康保険組合が評価され、高齢者医療制度への拠出が減額される(間接的に企業の保険料負担軽減につながる)インセンティブ制度が導入されたことはどう思われますか？
 ①妥当な制度だと思う ②よいとは思わない ③企業に直接インセンティブが働く制度がよい(税控除など)

問4 どのようにして本シンポジウムをお知りになりましたか？
 ①講座からの案内状 ②講座HP ③メールマガジン ④その他 ()

問5 その他ご意見などありましたら願います。

- 1) 10月29日(水)までに、必要事項を記入の上、FAXまたはE-mailにてお申し込みください。申し込み確認後、順次参加証をご希望の送付先へお送りいたしますので当日会場受付までお持ちください。
- 2) 先着順で受け付けますので、ご希望に添えない場合がございます。満席の場合は申し訳ございませんが、その旨ご連絡いたします。
- 3) 駐車場のご利用をしておりますので、お車のご来場はご遠慮願います。

会場案内図

